

ロシア：サハリン石炭統計

- 現地報道によると、2014年第1四半期、サハリン州内の石炭企業による石炭生産は、前年同時期比16.7%減、64万8,700tだった。同州エネルギー・公共事業省によれば、生産減少は主に、Sakhalinugol-2炭鉱で剥土作業が実施されていたこと、Sbytnedra炭鉱で技術的問題のため今のところ作業が行われていないため、としている。大手石炭生産会社の実績は、Sakhalinugol(全4社)：14万500t、Gornyak(1社)：22万9,100t、Coal Management Company(全3社)：9万9,000t。
- 2014年第1四半期、アジア太平洋地域諸国への輸出は、28万700tで、昨年同時期実績の3.3倍。このうち22万2,300tは中国向け、残りは日本向けであった。輸出が好調だったのは、この冬の氷の状況が良かったことに加え、ここ数年稼働していなかったネヴェリスク海洋漁港(不凍港)から、Gornyak-1社が生産した石炭の輸出が始まったことに起因するとのこと。各港からの出荷実績は、シャフチョールスク海洋港：15万1,800t、ウグレゴルスク石炭港：3万5,500t、ネヴェリスク海洋漁港：3万9,600t、ホルムスク海洋商業港：5万3,800t。

(モスクワ 屋敷真理子)

おことわり：本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行っておりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。